

いじめ予防のための生徒指導体制チェックリスト (生徒指導部向け)

基本的認識や姿勢

- いじめは、命に関わる事態に発展する可能性があるという認識を全教職員がもっているか
- 日頃から「いじめは絶対に許さない」という姿勢を示し続けているか
- いじめは、どの学校にもどの子にも起こりうるものであり、常に実態把握に努めなければならないことを共通理解しているか
- いじめについての訴えがあったときは、問題を軽視することなく、的確に対応しているか
- 学校経営の基本として、いじめを許さない毅然とした指導に関する方針を校長が明確に示しているか
- いじめ問題に対する学校の方針や取り組みの内容を、保護者や地域に積極的に知らせ、いじめの防止に努めているか

早期発見のための取り組み

- 子どもと遊んだり、給食（弁当）を共に食べたりして、相談や情報提供がしやすい教師と子どもの人間関係づくりに取り組んでいるか
- 教室や廊下の掲示物等にも気を配り、破損や落書きの有無等、積極的にいじめの兆候をつかむよう努めているか
- 日常的に、子どもたちの気になる言動（言葉遣いや遊びの様子など）について情報交換が行われているか
- 学校生活上の死角（空間的・時間的）を把握し、見回る等の役割分担が行われているか
- アンケートや個別面談、日記指導等の複数の手だてを組み合わせ、いじめの兆候を早期につかむ取り組みを定期的実施しているか
- 保健室や相談室の機能を活かして、養護教諭や相談員等が得た情報を効果的に活用しているか
- 教育相談が保護者にも活用されるような体制になっているか
- 第一発見後の「報告・連絡・相談」の基本ルート等、迅速な対応のための具体的な方法が全教職員に周知徹底されているか

学校の教育活動全体を通じた開発的生徒指導の展開

- 加害－被害という関係性だけでなく、いじめを子ども集団全体の課題ととらえ、集団を育てるという視点で教育活動を行っているか
- 日々の授業や学級経営を重視し、わかりやすい授業づくりや、子ども同士が互いに助け合う集団づくりの工夫をしているか
- 道徳や学級活動を重視し、「正義や公正さを重んじる心」や「命の大切さ」などの道徳性を育み、体験活動や日常生活との関連の中で、自尊感情を高める取り組みを実践できているか
- 児童会・生徒会等の組織に働き掛け、子どもたちが当事者意識をもっていじめの問題を考え、取り組むことができているか
- 構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなど、子どもの人間関係を改善する開発的・予防的な取り組みを、全校で行っているか
- いじめ予防指導資料やツールが、必要ときに誰でも活用できるよう提供されているか